

入院・移送にかかる概況について

滋賀県健康医療福祉部健康危機管理課

令和6年8月5日（月）

各病院の状況について

- 7月末に行った各病院への聞き取りの結果、基本的に大きな混乱はないが、以下のとおり懸念事項も出てきている。
 - 個室が埋まりつつある
 - 職員に感染者も出てきている
 - 入院が必要ではない状態でも、家族や施設から入院を求められるケースが見られる
 - 他の傷病により救急で運ばれてきた方の陽性が多くなってきている
 - 新型コロナ患者の受け入れを断る病院が出てきている

救急搬送困難事案について

- 7月における救急搬送困難事案は1件（7月8日～14日）
- 新型コロナに関係する事案ではないため、新型コロナの影響による救急搬送困難事案はない。

県内病院におけるCOVID-19患者対応状況調査（令和6年7月31日現在）

（対象： 県内感染管理認定看護師所属施設28施設中25施設から回答）

7月以降の受け入れ困難事例

- 「入院不要と判断しても、介護者の不在を理由に入院を希望。病一病連携により近隣施設調整を行うが、受け入れを断られ、遠方の医療施設に入院調整した事例が数件あり。」
- 「施設入居患者。療養後、施設へ退院調整をおこなうが施設職員のマンパワー不足を理由に退院を断られた。」
- 「社会的入院希望患者が増加。転院調整が困難をきたしている。」

現状受け入れ困難な状況にあるか

- 「現在24名入院。コロナ患者用病棟以外の一般病棟個室でも対応中。」
- 「高齢者患者が増加傾向。自宅介護困難患者の社会的入院事例があるが、入院病床管理上の問題は発生していない。」
- 「コロナ病床がなくなり、全病棟で受け入れをおこなっている。」
- 「全病棟で受け入れ可としており、個室空室がある限り受け入れ可能。」
- 「患者増加に伴い個室は満床。総室でコホート隔離を開始。夜間・休日でも受け入れられるよう、ベッドコントロールしている。」
- 「スムーズな患者受け入れを行うよう看護局から伝達があった。」
- 「元々個室が少なく、ほぼ満床。新たな受け入れが困難な状況。」

今後、懸念している点

【職員不足に関すること】

- 「患者増加に伴い、職員の感染者も増え、同一病棟でアウトブレイクが起るとマンパワー不足で受け入れ困難となる可能性がある。」
- 「働き方改革の影響か在籍医師の減少や医師の診療時間の制限に伴い現場が疲弊している。看護師の人材も不足しており、感染症の患者数の増加は現場の更なる疲弊に繋がらないかと懸念している。」
- 「職員の感染者も増えている。ぎりぎり状態で働いており、職員間でクラスターにならないか心配。」

【高齢者の受け入れに関すること】

- 「介護者がコロナ罹患を理由に、急遽入院を希望される案件が出ている。当院の居宅部門からの調整がさらに困難になる恐れがある。」
- 「自宅にスムーズに帰れない患者が増えると病床確保ができない。」

【入院調整に関すること】

- 「入院施設があるにも関わらず、転院依頼がこれ以上増えると、本来入院すべき患者が受けられない可能性がある。県から受け入れについて通知をして欲しい。」
- 「救急重症患者が増えると、今後本来の救急医療に支障をきたす。」
- 「これ以上患者が増加したらコロナ病棟を作らざるを得ない。」